

内閣総理大臣杯
第 57 回日本社会人ゴルフ選手権北海道大会
兼 第 21 回北海道社会人ゴルフ選手権

開催日：令和 8 年 8 月 4 日（火）
会 場：クラークカントリークラブ
主 催：スポーツニッポン新聞社

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に記載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2 罰打）」となる。

【ローカルルール】

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

アウトオブバウンズ（OB）は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア（規則 17）

- (a) ペナルティーエリアがアウトオブバウンズと接している場合、そのペナルティーエリアはアウトオブバウンズの境界線まで及び、そのペナルティーエリアの線はそのアウトオブバウンズの境界線と一致する。
- (b) ペナルティーエリアの線が片側だけ定められているレッドペナルティーエリアは無限に及ぶ。

ペナルティーエリアに対するドロップゾーン

ペナルティーエリアのためのドロップゾーンが標示されている場合、1 罰打で追加の選択肢がある。そのドロップゾーンは救済エリアである。球はその救済エリアの中にドロップされ、その中に止まらなければならない。

3. 異常なコース状態（規則 16）

(a) 修理地

青杭または白線で囲まれた区域

(b) 動かさない障害物

- (1) 白線の区域と動かさない障害物がつながれている場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- (2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長している全てのものは、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- (3) ウッドチップやマルチ（木屑）などを表面に敷いた道路や通路。ウッドチップやマルチ（木屑）などの個体はルースインペディメントである。
- (4) U 字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない。（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にある U 字排水溝）
- (5) 人工の表面を持つ道路に隣接している U 字排水溝はその道路の一部として扱う。
- (6) コース内にある防球ネットによる障害のため、規則 16.1b の救済を受ける場合には、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずに完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。

4. 不可分な物

次のものは不可分な物であり、罰なしの救済は認められない：

- (a) バンカーの縁の土留め用の構築物。
- (b) 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物、その他の物。
- (c) ペナルティーエリア内にある人工的な護岸や枕木等の構築物。

5. クラブと球

- (a) ローカルルールひな型 G-1「適合ドライバーヘッドリスト」を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
- (b) ローカルルールひな型 G-2「溝とパンチマークの仕様」を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
- (c) ローカルルールひな型 G-3「適合球リスト」を適用する。
このローカルルールに違反して最新のリストに掲載されていない球でストロークを行ったことに対する罰：失格
- (d) ローカルルールひな型 G-9「壊れた、または著しく損傷したクラブの取り替え」を適用する。
- (e) ローカルルールひな型 G-10「46 インチを超える長さのクラブの使用の禁止」を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行なったことに対する罰：失格

6. ゴルフシューズ

ローカルルールひな型 G-7 を適用する。

7. プレーの中断(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない。委員会
がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習
施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とするこ
とがある。

(b) 通常中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b、c、d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

差し迫った危険のための即時中断：1 回の長いサイレン

危険な状況ではない中断：3 回の連続する短いサイレン

プレーの再開：2 回の連続する短いサイレン

8. 練習(規則 5.2)

規則 5.5b は次の通り修正される。

2 つのホール間のプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

(a) 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、

(b) 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面
をテストする。

9. 移動

プレーヤーは動力付きの移動機器に乗車してはならない。ただし、委員会が認めた場合や、事後承認された場合を除
く。ストロークと距離の罰に基づいてプレーする(あるいはプレーした)プレーヤーは常に動力付きの移動機器に乗車
して移動することが承認される。

このローカルルールの違反に対する罰：違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。この違反がプレーするホ
ールとホールの間で起きた場合、罰は次のホールに適用する。

10. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：

- ・違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。

- ・違反がホールとホールの間で起きた場合、プレーヤーは次のホールに対して一般の罰を受ける。

または違反がホールとホールの間まで継続した場合、プレーヤーは次のホールに対しても一般の罰を受ける。

【競技の条件】

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定にて最終である。

3. プレーの条件

18 ホール・ストロークプレーを行い、合計 14 名（レギュラークラス上位 8 名、シニアクラス上位 6 名）が日本選手
権への出場資格を得る。

4. タイの決定

所定のホールが終わり、レギュラークラス 1 位がタイの場合は、即日委員会の指定するホールにおいてホールバイホ
ールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。なお、3 人以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外の競技者は
2 位タイとする。

また、シニアクラス 1 位と日本選手権への通過ラインにタイが生じた場合は、マッチング・スコアカード方式により
シニア優勝者と通過者を決定する。

【マッチング・スコアカード方式】

①10 番から 18 番ホールの合計スコア、②13 番から 18 番ホールの合計スコア、③16 番から 18 番ホールの合計スコ
ア、④18 番ホールのスコア、⑤4 番から 9 番ホールの合計スコア、⑥7 番から 9 番ホールの合計スコア、⑦9 番ホ
ールのスコアの順で決定する。上記の方法でも決まらない場合は、⑧委員会によるくじ引きで決定する。尚、くじ引き
の際、当該選手不在の場合は委員会が代理でくじ引きをする。

5. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

6. ティーマーカー

本競技のティーマーカーはゴールドマークとする。

7. 競技の終了時点

委員会の作成した成績表が公式ホームページに掲載された時点をもって終了したものとみなす。

【注意事項】

1. 大会当日の受付、フロント、打球練習場のオープン時間は 6:00、レストランは 6:30 とする。
2. 競技の条件やローカルルールに追加変更のあるときは、クラブハウス内掲示板とスターターズテント内に掲示して告知する。
3. スタート時刻 40 分前にはクラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻 10 分前には必ずティーイングエリア周辺で待機すること。但し、欠場者が出た場合は組み合わせを変更する場合がある。
4. プレーの進行に留意し、前の組との間隔をあげないよう注意すること。不当な遅延、スロープレーについては、規則 5.6a により罰せられることがある。
5. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
6. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
7. 競技委員会は規則 1.2 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーに対して「行動規範」(大会公式 HP 参照) に基づき罰を課すことができる。
8. 失格など競技委員会の決定について、抗議、その他のクレームは一切認めない。
9. 練習は指定練習場で行うこと。打球練習場は備え付けの球を使用し、1 人 1 コイン (30 球) を限度とする。
10. アプローチ練習場、バンカー練習場は自己の球を使用すること (1 人 5 個まで)。
11. 指定練習日および大会当日の服装およびエチケット・マナーに留意すること (ジーンズ、スウェット、T シャツ、サンダル、ハイヒールなど禁止)。
12. ギャラリーのゴルフ場内への立ち入りは禁止する。
13. 病気、事故等で参加を取り止める場合は必ず大会事務局に連絡すること。但し、この場合でも参加費の払い戻しはしない。大会前：スポニチ (TEL:03-3820-0651)、競技当日：コース (TEL: 011-377-3131)

競技委員長

◇内閣総理大臣杯 第57回 日本社会人ゴルフ選手権北海道決勝大会 兼 第21回 北海道社会人ゴルフ選手権 ヤーテージ◇

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	Total
ヤード*	525	444	158	409	551	400	212	364	397	3,460	555	415	210	430	562	156	347	393	421	3,489	6,949
パー	5	4	3	4	5	4	3	4	4	36	5	4	3	4	5	3	4	4	4	36	72

※コース状況により、変更となる場合がある